

愛宕橋・河原町駅 周辺地区



- ・藩政時代から続く商人や職人のまちであり、現在もその時代を感じられる商店街や歴史的・文化的価値の高い建造物が存在するなど、歴史的風情を色濃く残す地区です。
- ・広瀬川など豊かな自然も残り、河岸では地域のイベントが行われるなど、歴史や自然と暮らしが共存しています。

富田鐵之助の墓

仙台藩出身ながら初代日本銀行副総裁・第2代総裁という要職に就いた富田鐵之助。

東北の地に黄金の華（優秀な人材）を咲かせようという思いは今も仙台の学校に引き継がれています。



まちのトピックス

東北学院大学の移転

2023年4月、学都仙台の新たな象徴として東北学院大学「五橋キャンパス」が誕生します。伝統ある土樋キャンパスと一体となった「一つのキャンパス」に、文理の枠を越え約一万人の学生が集うほか、地域との新たな交流拠点としての役割も期待されます。



都市計画道路の整備

昭和市電通りから連坊小路までの区間において、宮沢根白石線（南鍛冶町・舟丁工区）が令和4年度に開通しました。さらにその先では南小泉茂庭線（宮沢橋工区）の工事も進められており、令和6年度末の開通が予定されています。



商店街における様々な活動

荒町商店街振興組合、河原町商店街振興組合などの商店街があります。それぞれの商店街が特有の歴史や文化を持ち、地域に根付いた特色のある取り組みを行うことで地域の活性化や賑わいづくりにつなげています。

若林城跡

寛永4～5年（1627～8）政宗は城下東南の「古城」とよばれるあたりに若林城を築き、日常の居所としました。その名は区名にもなっています。



若林城跡

広瀬川河川敷における取り組み

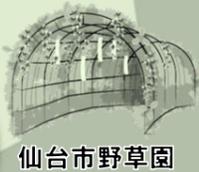
河原町・長町の商店街共同主催で毎年行われる広瀬川灯ろう流し。夕暮れの川面を色とりどりの灯籠が漂う様子は幻想的です。コンサートや花火大会も行われ、仙台市民の夏の風物詩として親しまれています。



地区の魅力・資源

杜の都景観重要建造物等

江戸時代、城下の南の入り口だった河原町。そこから南材木町、穀町、南鍛冶町、荒町へと続く奥州街道には、土蔵造りの建物など、まちの景観形成に重要な役割を果たしている歴史的建築物がいまも点在しています。



仙台市野草園



大年寺山公園

愛宕神社

仙台藩祖伊達政宗公と共に米沢から岩出山を経て仙台に移ってきた神社です。本殿と拝殿は、市指定文化財になっています。



昭和市電通り

昭和中期頃まで市電が走っていた土樋交差点から広瀬橋までの旧国道4号の愛称で、沿道町内会の公募により命名されました。



大年寺山公園・仙台市野草園

仙台市街地を取り囲む丘陵地の南端に位置する標高120mの大年寺山を中心とした面積約45haの風致公園であり、青葉山公園や経ヶ峯公園と並び、杜の都の自然景観を形成している公園です。昭和29年に開園した野草園もあり、貴重な野生植物を保護・展示しており、四季折々の自然を楽しむことができます。



高木植物区

将来のまちの姿

歴史と自然が薫り、暮らしと商いが共存する、魅力あるまち

古くからの住宅地や広瀬川、大年寺山などの豊かな自然が広がり、旧奥州街道沿いには商店街や本市の「杜の都景観重要建造物」などが立地するほか、東北学院大学の新たなキャンパス整備も進んでいることから、地域や大学、学生が連携した取り組みや地域資源のさらなる魅力創出、既存建築物の共同建て替えなどにより、良好な都市環境の維持・改善を図り、魅力あるまちの形成を目指します。



該当する施策展開の方向性

- 方向性① 持続可能で日常生活を安全安心に過ごせる市街地環境の形成
- 方向性② 駅を中心に便利で移動しやすい住宅地や交通環境の形成
- 方向性③ 暮らしの質を高める美しい街並み景観の形成
- 方向性⑦ まちづくり団体や地元商店街による地域の活性化
- 方向性⑨ 沿線の多様な資源に触れることができる空間の形成

取り組み施策



6 景観資源の保全 (長期)

「杜の都」の特徴である市街地を囲む緑豊かな丘陵部を保全するため、**大年寺山公園**の整備を進めます。

7 継続

駅周辺の「**杜の都景観重要建造物**」を地域の貴重な資源として、維持・保全が図られるよう支援します。

10 中期

都市計画道路南小泉茂庭線（宮沢橋工区）について、本市の都市活動や災害時における救命救急、物資輸送などの活動を支えるために橋の架け替えなどを進めるとともに、より災害に強い道路ネットワークの形成に向けて**無電柱化**を推進します。

11 継続

地域住民が安全・安心に暮らせるよう、宅地擁壁の専門家派遣制度や安全対策工事に係る助成金制度により、**老朽化した宅地擁壁の作り替え**を支援します。

※宅地擁壁の支援制度（専門家派遣制度・安全対策工事に係る助成金制度）は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

12 継続

広瀬川の洪水による浸水が想定される地域においては、災害時に自らの命を守る行動がとれるよう、仙台防災ハザードマップやくらしのマップ、住民説明会の場などを活用し、**防災情報の普及啓発**に取り組みます。

5 継続

地域コミュニティの維持・活性化が図られるよう、一戸建ての持ち家を取得した若年・子育て世帯に対する助成金の交付等により、**子育てしやすい良好な住宅への住み替え**を支援します。

※若年・子育て世帯住み替え支援事業は地下鉄沿線以外の地域でも活用できます。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

1 短期

東北学院大学五橋キャンパスが開校することを契機として、大学を核とした地域や各種団体との連携協力による地域課題の解決、経済の活性化を図るため、意見交換会の開催や協働イベントなどの取り組みを支援します。

2 継続

地域のシンボルである南材木町小学校において、児童や保護者、地域住民などの参加により、こどもたちに自然とふれあう体験の場を提供する**学校の森づくり**を実施するとともに、その活用を進めます。

3 継続

地域の日常生活を支える商店街の活性化に向けて、**商店街が主体となったイベント**などの取り組みを支援します。

4 継続

駅周辺の町内会や商店街などの地域団体による、広瀬川緑地を活用した取り組みなど、**地域の賑わい創出**につながる取り組みを支援します。

13 継続

歩行者や自転車、自動車の安全な通行のほか、健康増進やサイクルーツリズムなどの観点から、駅周辺の「**自転車ネットワーク路線**」において、**自転車通行空間**の整備を検討します。

14 継続

大学生の公共交通の利用を促進するため、通学に便利な**大学周辺の交通情報マップ**を提供して、公共交通の利便性の高い地域への居住誘導や公共交通での通学を促す取り組みを、大学と連携して実施します。

8 継続

駅周辺の居住環境の改善や防災性の向上が図られるよう、**建築更新の相談時**などにおいて共同建て替えなどを誘導します。

9 中期

河原町一丁目2番地区においては、土地の有効活用による商店街の新たな賑わい創出と居住促進を図るため、商業施設や共同住宅、子育て支援施設などが複合した共同建て替え（**優良建築物等整備事業**）を支援します。

市が市民の取り組みを支援・誘導する施策
 市が事業者の取り組みを支援・誘導する施策
 市が実施・検討する施策

短期 2023（令和5）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 中期 2026（令和8）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 長期 2030（令和12）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 継続 計画期間中、継続して取り組む施策